

平成27年度第2回「恵庭市史編さん委員会」会議録

日 時：平成28年2月17日（水） 10：00～：11：00

場 所：市役所（3階）301．302会議室

出席者：＜委 員＞ 北越会長、山田副会長、村上委員、中泉委員、高橋委員、
宮田委員、江里口委員、平中委員

（欠席者）曾根委員、山口委員

＜事務局＞後藤企画振興部長、林企画振興部次長、

大槻企画・広報課長、早川広報担当主査ほかスタッフ

＜委託事業者＞対馬、村上、佐藤

傍聴者：なし

1. 開 会

2. 会長挨拶（要旨）

春の編さん委員会においては、今年度の事業計画についてご審議をいただいた。本日は、執筆要領、組見本、目次構成という、市史の重要な骨格部分についてご審議をいただきたい。熱心なご議論を願う。

※議事に入る前に、林次長より曾根委員、山口委員の欠席と、本日の3つの議題の細部は、市史編さん事業委託事業者から説明することを報告した。

3. 議 事

北越会長が議長となり、議事を開始。

(1). 協議事項1 執筆要領（案）について

委託事業者より資料に基づき基本的な事項を説明。

- ①本文は、縦書きとする。
- ②見出しは、編・章・節・大見出し・小見出しの編成とする。
- ③文体は、「である」体を基調とする。
- ④年の表記は和暦を基調とし、小見出し単位の初出で（ ）書きで西暦を表示する。
- ⑤数の表記は原則として漢数字を用いる。
- ⑥単位の表記は組み文字カタカナを基調とし、例外としてパーセントは「%」と表記する。
- ⑦その他細部は執筆者と編集者のためのルールであり、変更の可能性あり。

《質疑応答》

A委員 植物等の学名はどのように表記するのか？

回 答 アルファベットで90度横に表記する。

B委員 単位の表記について。「%」以外は記号を用いずに組文字のカタカナということだったが、最近は例えばm²を使う傾向にないのか。

回 答 縦組みの出版物で、m²のような単位記号を用いる傾向にはない。

B委員 了承する。

議 長 基本的な部分についてご了承いただければ、原稿の段階でお気付きの点について議論するということによろしいか。

一 同 異議なし。

(2). 協議事項2 組見本(案)について

委託事業者より資料に基づき説明。

1 ページ当たりの収容文字数や見やすさから組見本B—1を推奨。仕様は下記のとおり。

①本文……14級、行間11級、段間8mm

②小見出し……1行見出し

《質疑応答》

■文字の大きさ

C委員 10ポイントと10.3ポイントでは見た目はほとんど変わらない。ならば収容文字数を優先して10ポイントがよい。

D委員 前の市史は文字が小さくて読む気が失せる。前の市史よりも大きい10ポイントに賛成。

■見出しのスタイル

C委員 B—1に賛成。

E委員 同感。

A委員 以前の市町村史では吊り見出しをよく用いていたが、B—1の方が見やすい。

一 同 組見本のB—1を承認。

(3). 協議事項3 目次構成(案)について

委託事業者より資料に基づき説明。

※訂正：第1編 第4章「動植物」は専門家による執筆。

①上巻・下巻各700ページ、計1400ページだが、序文、目次、編さん後記等を除き1300ページの見込み。

②第2編 第1章「先史時代」…前市史とは時代区分を変更してまとめる。

③第2編 第2章「恵庭アイヌの足跡」と題し、前市史以降進んでいるアイヌ文化の研究成果を恵庭アイヌと題してまとめていく。

④第2編 第3章「近世の恵庭」…場所請負制度下の恵庭、交通の要衝という部分に焦点を当てながら近世の恵庭をまとめる。

⑤第4編 第1～5章 前市史にはなかった時代を総合計画と経済・社会状況を

織り交ぜながらまとめる。

⑥第7編 「福祉と保健医療」福祉と医療を同じ章とし、介護保険も福祉・医療と関係が深いことからこれらを一つの章にまとめた。これが今回の恵庭市史の特徴となっている。

⑦資料編（各種論文・報告書）は現段階では該当はないが調査を継続。

⑧今後、執筆量、資料量によって章が節に、節が章に昇格することもある。

《質疑応答》

C委員 第2編 第2章「恵庭アイヌの足跡」のアイヌとは北海道のアイヌか恵庭のアイヌか？

回 答 基本的には恵庭のアイヌを中心にしたいと考えているが、資料はどの程度あるか不明。前市史では国の政策の記述も不足。それらも踏まえながら恵庭アイヌとして書き込んでいきたい。

A委員 近世の資料は限られているので記述できることも自ずと決まってくるのではないか。最近恵庭でも18世紀の住居跡や、今までアイヌのチャシ遺跡と言われたものが縄文の遺跡だったというような大きな変更点もあるし、前市史以降の遺跡についてカリンバ、西島松など史実は大きく変わっている。先史時代は完全に書き改めるということを考慮すると、この部分のページ割合は検討したい。

C委員 第11編「文化・スポーツ」の「文化」とは具体的にどのような捉え方か？

回 答 第1章の「文化」は生涯学習、社会教育を中心とした文化協会等の市民活動。第2章「スポーツ」は市民スポーツとスポーツに関する施策を中心とした活動。第3章「文化財」は歴史的建物としての文化財や寺社等を考えている。

C委員 図書館はどこに入るのか？

回 答 第10編「教育」第8章「社会教育施設」と考えている。

議 長 何がどの項目に該当するか難しい面もあるので、これは今後執筆者から出てくる原稿でご意見をいただきたい。基本的な部分についてご了承いただければ、原稿の段階でお気付きの点について議論するということでよろしいか。

一 同 異議なし。

(4). その他協議事項 なし

4. その他

■事務局より

次回の編さん委員会は5月連休明けを予定している。議題は平成27年度事業報告、平成28年度事業計画。(株)ぎょうせいからのサンプル原稿を元に記述イメージ等を審議いただく。

5. 閉 会